



横須賀・三浦放射線技師会報

Vol.35-No.3 MAR.2012

No.111



<発行元>横須賀・三浦放射線技師会 広報 <発行元住所>神奈川県横須賀市米が浜通 1-16

Photo by T.Kubo

CONTENS

「平成23年度 総会特集号」

巻頭言	2	福利厚生報告	7
平成24年度役員改選について	3	スクリーニング講習会参加記	7
平成23年度総会開催のご案内	4	賛助会員のコーナー	7
平成23年度総会式次第	5	NEW FACE	8
庶務報告	6	会員名簿作成遅延のお詫び	8
合同勉強会報告	6	編集長のコーナー	8

巻頭言



横須賀・三浦放射線技師会 副会長 羽布津 嘉宏



春寒しだいに緩むころ、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

東日本大震災から、一年が経過しましたがまだその爪あとが深く延々と進まぬ復興への支援、瓦礫の問題、原発の問題、電力の問題等々数え切れない困難を乗り越えていかねば行けないと、会員の皆様も強く感じていることと思っております。

今回の大震災でよく聞く言葉で、「想定外の事態」だった。いとも簡単に無責任な発言に腹が立ちます。横須賀三浦放射線技師会には、原子力災害が発生した場合を想定し平成16年にNAS(原子力災害特別派遣)チームを発足し毎年訓練(スクリーニング方法など)を行っており、今回の原発事故でもその活動力・知識・技術で高い評価を得ました。来年度は、技師会でサベーマーターを購入する事となっており活動も幅広く行なえる事を期待しております。

大震災を通して「絆」という言葉が生まれ、いい言葉だなと感じています。

会員の皆様にご報告があります。横須賀共済病院勤務で技師会会計担当理事の生方昌宏が昨年12月に突然脳出血で倒れました。大変やさしく、また職場の仕事、技師会の仕事などにも責任感の強い人でしたので、生方の抜けた職場や技師会の運営に大きな痛手となっております。現在は、リハビリテーション病棟に移り頑張ってリハビリを受けております。早くあのウブちゃん独特の言いまわし、生方節を聞きたいと思っています。皆様も応援よろしくお願い申し上げます。

まだまだ寒さが厳しいですが、皆様くれぐれもご自愛ください。



会員各位

平成24年度役員改選について

横須賀三浦放射線技師会選挙管理委員会

平成23年度役員任期満了に伴い、横須賀三浦放射線技師会規約第6条イ項役員選挙の規定に従い、役員選挙を下記の通り行います。

1. 役員の種類と定数

会長	1名
副会長	2名
会計監査	2名
理事	若干名

2. 立候補届出締切、日時

平成24年3月10日（土） 12：00まで

3. 立候補の方法

本会会員の資格を有し、役員に立候補する意志のある方は上記の期間までに、選挙管理委員へ文書または口頭で届け出る。

4. 選挙管理委員会の設立

選挙管理委員2名を次の通りとする

横須賀共済病院 坂詰丈太（046-822-2710）

横須賀市立うわまち病院 日景武史（046-823-2630）

5. 立候補したものは、平成23年度本総会において承認を得る。

平成23年度横須賀三浦放射線技師会総会

平成24年3月17日（土） 15：00より 横須賀共済病院5階講堂

会員各位

平成23年度総会開催のご案内

横須賀三浦放射線技師会事務局

平成23年度本会総会を下記の通り開催致します。
何卒ご出席いただきますようご案内申し上げます。
尚、本総会終了後 懇親会を行います。こちらも多数の
ご参加をお願い申し上げます。

記

日時 平成24年3月17日（土） 15:00～

会場 横須賀共済病院5階講堂

懇親会 17:00～

会場 セントラルホテル

懇親会会費 5000 円

- ※ 準備の都合上、3月10日（土）までに本会事務局まで出欠をお知らせください。
- ※ 懇親会出席申し込みされた方は、当日欠席されても懇親会会費は、徴収させていただきますので、悪しからずお願い申し上げます。
- ※ 当日、来年度分の会費納入も受付致します。

横須賀三浦放射線技師会事務局

〒238-8558 横須賀市米が浜通1-1 6 横須賀共済病院 中央放射線科内

Tel 046-822-2710 Mail ymart001@ymart.jp

濱田順爾、菅原保富、松村高宏



平成23年度総会式次第

3月17日（土）15:00～ 於：横須賀共済病院5階講堂

- 一、開会の言葉
- 一、会長挨拶
- 一、会員表彰
- 一、祝 辞
- 一、議長団選出
- 一、議 事
 - ①平成23年度事業報告
 - 庶務報告
 - 学術報告
 - 福利厚生報告
 - 広報報告
 - Y M B I T 報告
 - 救急医療報告
 - 緊急被ばく医療報告
 - 地区委員報告
 - ②平成23年度会計決算報告
 - 平成23年度一般会計決算報告
 - 平成23年度救急医療決算報告
 - ③平成23年度会計監査報告
 - ④平成24年度役員改選
 - 選挙管理委員報告
 - 新会長決定
 - ⑤新会長挨拶および平成24年度事業計画案
 - ⑥平成24年度会計予算案
 - 平成24年度一般会計予算案
 - 平成24年度救急医療会計予算案
- 一、議長団解任
- 一、閉会の言葉

庶務報告 (2011/10/31~2012/03/17)

- 10/31・第109回横須賀三浦放射線技師会研究会開催の案内を役員および賛助会員宛メール配信、HPへ掲載依頼
- 11/08・KARTサーベイメータ実習に講師として濱田理事、相ヶ瀬氏参加
- 11/10・飯島康宏氏(衣笠診療所)より入会申込書受理
- 11/12・第109回研究会開催(横須賀共済HP)
・横須賀市医師会防災訓練に救急センター勤務者3名が参加
- 11/15・神奈川県放射線技師会より平成24年新春情報交換会の開催案内および会長宛招待状を受理
- 11/16・柳澤相談役が神奈川県保健衛生表彰(知事表彰)される
・県市合同原子力防災訓練(市民HP)にNASチームより濱田理事、沼田氏参加
- 11/24・第3回救急センター連絡会議開催(横共健診センター)
- 11/26・第7回スクリーニング講習会開催(横須賀共済HP)
- 11/29・横須賀市医師会賀詞交歓会の開催案内および会長宛招待状を受理
- 12/02・日米合同原子力防災訓練第1回予行演習にNASチームから羽布津副会長、大石理事参加
- 12/03・ボーリング大会(スポーツよこすか)&忘年会(プライム6階北海道)開催
・県管理士部会主催第3回管理士セミナー(福井)にてNASチームより講師として濱田理事参加
- 12/05・日米合同原子力防災訓練にNASチームから濱田理事参加
- 12/09・日米合同原子力防災訓練第2回予行演習にNASチームから沼田氏参加
- 12/13・生方理事入院(横須賀共済HP)
- 12/27・第4回理事会、賀詞交歓会の開催案内を役員および賛助会員宛メール配信、HPへ掲載依頼
- 1/12・神奈川県放射線技師会平成24年新春情報交換会へ服部会長出席
・会員藤本健文氏(市民)退会
- 1/14・横須賀市医師会賀詞交歓会へ服部会長出席
- 1/16・横須賀市医師会賀詞交歓会、服部会長出席に対する礼状受理
- 1/28・第4回理事会&賀詞交歓会開催(衣笠HP)
・原安協緊急被ばく講習会開催(横須賀共済HP)
- 2/18・県技師会ボーリング大会開催
- 2/22・会計監査(横共健診センター)
- 2/23・第4回救急センター連絡会議開催(横共健診センター)

- 2/25・南部合同勉強会開催(横須賀共済HP)
- 2/27・平成24年度役員改選告示
・平成23年度本会総会開催案内を配信
- 2/29・会員星貴恵氏(横浜南共済病院)退会
- 3/01・NASチーム連絡網訓練実施
- 3/17・平成23年度総会開催予定(横須賀共済HP)
・総会懇親会開催予定(セントラルH)
会員数147名、賛助会員数20社

横須賀三浦・南部地区合同勉強会報告

去る2月25日(土)横須賀共済病院5階講堂にて、平成23年度横須賀三浦・南部地区合同勉強会を開催いたしました。

当日ははととても寒く、雨にもかかわらず賛助会員含め50名と多くの方々にご参加いただきました。今回は南部地区も合同ということで全部で5演題の発表がありました。いつもの横三地区のみの勉強会とは少し雰囲気も変わり、いい刺激を受けた方も多いのではないのでしょうか。

勉強会の後は台南市場にて懇親会を行いました。こちらにも26名と多くの方にご参加いただきました。

次回の勉強会は詳細未定ですが年度も変わり、各施設新人さんも入ってくると思いますので顔見せを兼ねて多くの方のご参加お待ちしております。

学術理事 壺川貴子(横須賀共済病院)



プログラム
日 時 2012年2月25日 15:00~17:00
会 場 横須賀共済病院5階講堂

1. 「当院の骨密度検査 症例の検討」
横須賀市立うわまち病院 永塚 純氏
 2. 「ガンマカメラ更新に伴う核医学診療情報配信方法の検討」
横浜栄共済病院 荒田 光俊氏
 3. 「当院における放射線治療の現状と課題」
横須賀市民病院 高野 雄介氏
 4. 「乳房温存放射線治療における矩形照射野を用いたField Field法」
済生会横浜市南部病院 中里 恒紀氏
 5. 「当院のリニアックによる放射線治療の現状、第2報(治療RISとこれまでの集計・分析を中心に)」
横須賀共済病院 千葉 一彦氏
- 参加人数50名(賛助会員9名含む)

福利厚生報告

去る平成 23 年 12 月 3 日、毎年恒例となるボーリング大会をブラウズウィックスポーツ横須賀で、忘年会を横須賀プライム 6 階「味紀行と地酒」で執り行いました。昨年は東北の大震災があり日本が元気をなくしていましたが、我々から元気をあげたいとボーリングには 30 名、忘年会には 42 名の方にご参加いただきました。毎回思うことなのですが、当会は本当に繋がりを大切に、「仲間」意識の強い会だと実感しました。大変有意義な時間を一緒に過ごせてうれしく思います。今回はエコを一部取り入れてみました。恒例の抽選会ではクジに紙ではなく iPhone を取り入れてデジタルな抽選会にしてみました。反省点・課題はありましたが今後もいろんなアイデアを出していきたいと思ひます。

3 月の懇親会では新たな試みとしてジャズバンドをお招きし、ひと味違った会になると思ひています。みなさんの参加をお待ちしています。

おもしろい企画やアイデアがありましたら、ぜひご意見をお寄せください。 湘南病院 戸高 拓朗

スクリーニング講習会参加記

横須賀共済病院 手島 祥吾



皆さんがスーツや私服で参加している中、自分一人だけが白衣で参加してしまうという

恥ずかしいハプニングで始まったスクリーニング講習会でしたが、スライドによるスクリーニングの説明や実際に模擬線源を隠した人をスクリーニングするスクリーニング体験などとてもためになることばかりでした。その中でも私の中で一番印象的だったのはスクリーニング体験です。東日本大震災によって『スクリーニング』という言葉はたびたび耳にしていたのですが、実際に体験してみると、頭を使う作業ではなく体力勝負の肉体作業でした。私はスクリーニング体験として模擬線源を隠した人を二人スクリーニングさせていただいたのですが、二人をス

クリーニングただけで足がプルプルしてきてしまい、この作業を一日に何十人～百何人やるとなると相当大変なことということが身をもって知ることができました。また、日頃使うことの少ないサーベイメーターに触れることが出来たことは非常に貴重な体験をすることが出来、これからもこのような講習会には積極的に参加していきたいと思ひます。

スクリーニング講習会参加記

横須賀共済病院 照井 裕介

平成 23 年 1 月 26 日、本年度もスクリーニング講習会が横須賀共済病院にて開催されました。

今回の講習会では、さる 3 月 11 日に起きた東

日本大震災に伴った福島原子力発電所の事故により、実際に被災地に派遣された方々の貴重なお話を聞くことが出来まし



た。また他にも、サーベイメーターの取り扱い方、セグメント法の講義、スクリーニング実習を行いました。サーベイメーターの取り扱い方では、機器の使用方法及び特性を再確認することが出来ました。

セグメント法は、実際に福島において避難住民のスクリーニングに使用された方法であり、3 分で一人をサーベイするというものです。スクリーニング実習では、このセグメント法を利用して行い、模擬線源を隠し持った人を実際にサーベイすることにより理解深めることが出来たとともにスクリーニングサーベイの難しさも体感しました。今回のような大震災がまたいつ起きるか分からないことを考えると、原子力災害を想定し、そのような事態に備えた知識を深めることの重要性を再認識させられました。今後もこのような講習会に積極的に参加し、得た知識を活かせるようにしていきたいと思ひます。

賛助会員のコーナー ⑦

賛助会員の皆様に、メッセージを書かせていただきました。前号と同じく、紙面の都合上、順不同・写真無しとさせていただきます。

伏見製薬株式会社 駒村 剣人

平素より大変お世話になっております。本年度より遠隔読影サービスを開始し、会員の皆様のお手伝いをさせて戴く所存でございます。従来よりのバリウム製剤も併せ、宜しくお願ひ申し上げます。

富士フィルムメディカル株式会社 小島 秀夫

平素より大変お世話になっており感謝しております。趣味であるランニングがしたくなる地区であり、いつも気持ちを抑えながらご訪問させて頂いております。これからも自分ができることからこつこつと仕事をさせて頂きたいと考えておりますので今後とも皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

東芝メディカルシステムズ株式会社 倉谷 真弘

東芝メディカルシステムズの倉谷と申します。現在、横須賀三浦地区を担当させて頂いております。横須賀三浦放射線技師会は、とても熱心に学術的な勉強会などへの取り組みや会員様方の親睦交流が盛んで、全国の放射線技師会の中でも、一番纏まりのある放射線技師会ではないかと痛感しております。今後とも、学術的な面を含め画像診断機器総合メーカーとして、技師会の発展にご協力させて頂きたいと思ひます。何卒宜しくお願ひ致します。

株式会社池田医療電機 代表取締役 池田 諒三

横須賀三浦放射線技師会様には、日頃、大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。突然ですが、当社、横浜営業所を3月31日で閉店する事をご報告申し上げます。今日までのご厚情に深く感謝申し上げます。

株式会社島津製作所 曾川 守

人と地球の健康のために、科学技術で社会に貢献していきます。よろしくお願ひいたします。

NEW FACE



神奈川みなみ医療生協衣笠診療所放射線科の飯島康宏です。昨年暮れのボーリング大会で行事に初参加し横須賀三浦放射線技師会に入会しました。東洋公衆衛生学院で技師免を取得し、その後、就職難に遭遇してしまい県外での就職に及んだので

すが、念願叶ってか、実家がある横三地区に戻ってくる事が出来ました。今後とも宜しくお願ひします。

会員名簿作成遅延のお詫び

本年度理事会承認にて平成23年度版会員名簿を作成する予定でしたが、いくつかのトラブル発生により事務局に混乱があり、総会前に会員の皆様のお手元にお届け出来そうにない状況となつてしまいました。事務局一同、謹んで力不足をお詫びいたしますとともに、来年度早々には新入会員をも掲載した平成24年度版の会員名簿を、皆様のお手元に届けますことをお約束させていただきたく、ご了承のほどお願ひ申し上げます (庶務 濱田)

編集長のコーナー

STAND ALONE COMPLEX

「我々の間に、チームプレーなどという都合のよい言い訳は存在しない。必要なのは(あるとすれば)スタンドプレーの結果生じる、チームワークだけだ。」これは、攻殻機動隊の中で、9課設立当初に荒巻課長が初めて言った訓戒。(2回出てくる言い回しだが、荒巻本人では無くトグサが言っている方。こっちの方がしっくりくる。) チームプレイは規約に縛られがちだが、安定性はある。チームプレイが要求されるのは、団体で同じ動きを求められるシンクロナイズドスイミングが代表。チームワークは人間関係を良くする事や馴れ合うことが目的ではない。スタンドプレーは猪突するのではなく、個々のと言う意味。放射線科の中で言えば、各々が診療放射線技師というスペシャリスト。病院全体から見ると、専門職の集合が各々の部門。各々でも部門単位でも、同じ方向(目標)に対して共有・並列化を繰り返しつつ、各々が最善と考える判断・行動をとれば、自然統一が取れ、創発(個々の単純な総和にとどまらない性質が現れること。1+1=2以上に。)となる。不確実性下の医療現場で、職能を持つ私たちにはスタンドプレーの理想的な複合、チームワークが望まれる。また、それを行える信頼と組織の柔軟性も必要だと思う。あともう一つ組織論として構造解析中なのが、同じく攻殻機動隊の中での台詞。トグサが「なんで俺みたいな男を、本庁から引き抜いたんですか?」と聞いたときの少佐の答え。「戦闘単位として、どんなに優秀でも同じ規格品で構成されたシステムは、どこかに致命的な欠陥を持つことになるわ。組織も人間も同じ、特殊化の果てにあるのは、ゆるやかな死.....それだけよ」
んー、複雑な防壁迷路が組まれているな。

注)『攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX』は、土郎正宗原作のSF・テレビアニメ。(三浦市立 久保)

NO.111 Vol.35-No.3 MAR.2012 横須賀三浦放射線技師会会報
2012年3月10日発行 編集/発行/印刷/製本 広報部
広報担当 安藤悦夫(逗葉地域医療センター)
濱田順爾(横須賀共済病院)
久保隆(三浦市立病院)